

4R活動を推進しましょう

優先度1

リフューズ
Refuse

ごみになるものを断る



10月は4R推進月間です

町では、全国的に推進されている3Rに「Refuse（リフューズ）」を加え、4R活動を推進しています。国で定めた10月の3R推進月間に倣（なぞ）い、同じく10月を4R推進月間として、これまで2ヶ月に

ごみを減らすために

4R について

(よんあーる、ふおーあーる)

考えましょう

最終回 / 全3回

わたってごみを減らす取り組みを紹介してきました。最終回の今号では、これまでの内容を振り返るとともに、改めてごみや環境について考えてみましょう。

気軽にできる生活のワンキ

家庭ごみの中で最も多いのが「生ごみ」です。食べ残しや、水分が十分に切れていないものも多く、焼却効率が影響が出ています。生ごみ減量はごみ全体の減量に繋がります。ぜひ生ごみの3キリを実践してみてください。

4Rの中で特に大事な取り組みは、「Refuse」と「Reduce」です。一人ひとりがごみになるものをもらわないようにしたり、なるべくごみを出さないようにして、ごみの減量・リサイクルにご協力をお願いします。

問合せ
生活環境課環境係
内線171・172

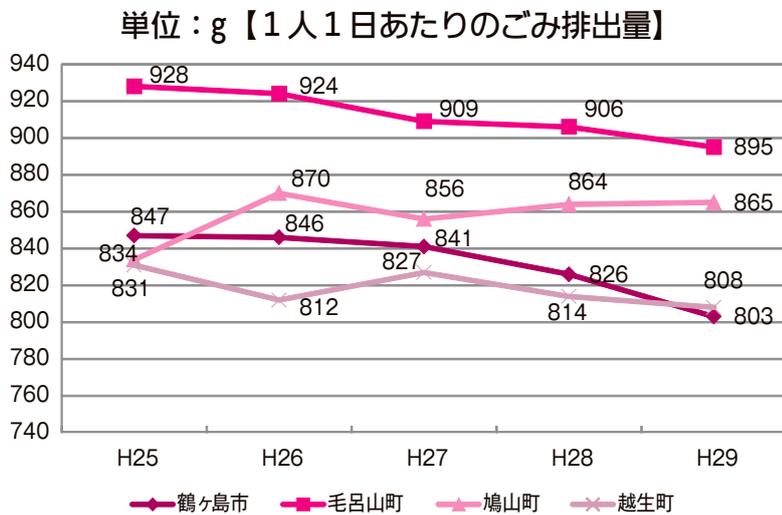
優先度 4
リサイクル
Recycle
資源に戻して再利用する



優先度 3
リユース
Reuse
捨てずに再利用し繰り返し使う



優先度 2
リデュース
Reduce
ごみを減らす・出さない

出典：埼玉西部環境保全組合「平成 29 年版行政報告書」

※ 1 国において公表しているごみの総排出量は収集ごみ量+直接搬入量+集団資源回収量です

※ 2 グラフ上の数値の算出にあたっては、各年度の 10 月 1 日時点の人口を使用しました

毛呂山町から出たごみは、鶴ヶ島市・越生町・鳩山町と合わせて、埼玉西部環境保全組合が焼却・処理や資源化処理をしています。組合によると、毛呂山町の 1 人 1 日あたりのごみの排出量は、減少傾向にあり、皆さんのご協力の結果だと思われます。しかし

1 人 1 日あたりのごみ排出量

左のグラフのとおり、毛呂山町の 1 人 1 日あたりのごみの排出量が、保全組合構成 4 市町の中で一番多い結果となっています。事業所ごみも含まれるため、一概に悪い結果とは言えませんが、更なるごみの減量にご協力をお願いいたします。

水キリ

- 野菜は皮をむいてから洗いましょう
- 水キリグッズを利用しましょう

食べキリ

- 食べきれる量を考えて調理しましょう
- 外食時は、食べきれる量を注文しましょう

使いキリ

- 野菜は皮ごと調理しましょう
- 食材が余ったら、別の料理で活用しましょう